

例会日:毎週金曜日
 例会場:碧海信用金庫本店3F
 安城市御幸本町15-1
 TEL:0566-75-8866
 FAX:0566-74-5678
 Email: anjo-rc19580206@katch.ne.jp

第3045回例会

2020年10月2日(金) 12:30~13:30

司会者:服部 敦君

ソング:「君が代」「奉仕の理想」

ニコボックス委員会:神谷 明文君

親睦活動委員会:山口 雄史君



ゲスト及びビジター:マニックサリ・アイカさん 米山奨学生

2020-21年度地区大会実行委員長 磯貝 一己様

2020-21年度地区大会実行委員 野村 智之様

2020-2021年度RIテーマ:「ロータリーは機会の扉を開く」

安城ロータリークラブ会長方針:「もっと、この街と！」

■会長:深津 正則

■幹事:恒川 憲一

■クラブ会報:長谷川 大祐・清水 正幸・市川 護

■創立日:S33年1月10日

■RI加盟認証日:S33年2月6日

■ 会長挨拶

深津 正則会長

米山記念奨学事業

全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給、支援する国際奨学事業です。

日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材の育成することが使命です。

“日本ロータリーの父”米山梅吉氏の遺徳記念事業として1952年、東京RCが始め、その後全国のRCの共同事業となり文科省を主務官庁とする(公財)ロータリー米山記念奨学会が設立され、50有余年の歴史を持つ多地区合同奉仕活動です。

【特色】

米山奨学生の採用数は2019年は868人、総事業費は13億円で事業規模・採用数とも国内では民間最大です。これまでに支援した奨学生数は累計で21,000人、出身国は124の国と地域に及び。

【世話クラブ・カウンセラー制度】

(世話クラブ)
1つのクラブが、1人の奨学生の世話クラブ
(a) 米山奨学生は月1回例会へ出席
(b) 奨学金を受け渡し
(c) スピーチその他の親睦、奉仕活動に参加

【カウンセラー】

世話クラブから1人がカウンセラーとなり、奨学生の個人的ケアにあたるアドバイザー

【指定校・学校推薦制度】

地区の選考委員会が大学を指定し、各指定校から候補者を推薦してもらい、地区の選考委員会が選考する。応募学生は2段階の選考を受ける。

【奨学金の種類、内容】

学都課程 月額10万円
 修士課程 月額14万円
 博士課程 月額14万円

【奨学金に対する寄付金】
 1. 普通寄付金
 クラブを通じて定期的に寄付
 2. 特別寄付金
 クラブ又は法人として普通寄付以外に寄付するもの

【表彰制度】

華米山功労者 米山功労者(マルチブル)

季節の一句

名月や

悲しき誘う

彼岸花

深津



■ 幹事報告

恒川 憲一幹事

- 2020-21年度地区大会実行委員会より2名、PRにお越しいただいております。
- 本日、例会終了後に理事会を行います。
- 10/9(金) 新会員の歓迎会を行います。本日より登録料の集金をいたします。
- 12/20予定しておりました、「会員家族親睦例会」は、12/19(土)18:00~ストリングスホテルに変更をいたしました。詳しいご案内は来週配布いたします。
- 2019-2020年度の年間総合報告書ができましたので、配布いたします。
- 日本のロータリー100周年の切手が発売されました。郵便局にて購入できますが、受付にも少しありますので、欲しい方は申し出てください。1シート¥840デザインがかわいいですよ。
- 米山記念奨学会の特別寄付をお願いしたい方へ、ご案内の用紙を配布いたしました。宜しく願い致します。また、米山記念館では賛助会員を募っています。
- 10月のロータリーレートは1ドル=105円です。

■ 出席報告

成瀬 清二君

会員	55名
出席義務者	44名
出席	40名
欠席	15名
出席免除者の出席	
出席率	72.70%

■ 今月のお祝い

会員誕生日 6名
 婦人誕生日 4名
 結婚記念日 3組



テーマ「日本での留学生生活」

米山奨学生 マニックサリ・アイカさん



概要

1. インドネシア、バリ島の紹介
2. 日本語習得 (バリ日本語補習授業校)
3. 留学生活で力を入れたこと
 - ✓名古屋市博物館でのサークル活動
 - ✓ボランティア活動
 - ✓資格を取ることに



インドネシア・バリ島



バリ島



ヒンドゥー教
寺院

バリ島



民族衣装
お供え物

バリ島
行事



ニューピ

バリ島
学校



バリ島
子供たち



凧揚げ



日本語習得
(バリ日本語補習授業校)

日本語習得
(バリ日本語補習授業校)

日本語を学ぶ子供たち(2歳)が日本語だけでなく日本の文化をも学ぶ場を提供する役割を担う。

私は12年間この塾で学んだ。

長年学んできた日本語を生かして、日本へ留学したいと決める。



日本での留学生生活

日本に留学して、留学に際むことに加え多くの人々と関わりを持つことを大切にしてきた。

◆名古屋市博物館でのサークル活動

◆ボランティア活動

◆資格をとること



名古屋市博物館でのサークル活動

内容:

「名古屋市博物館へ若者を呼び込む」という目標を掲げ、様々なイベントを企画・運営したり、博物館の職員を多くの人に知ってもらう取り組みをとり進めているボランティア団体。

学んだこと:

・協調性
・目標を達成する喜び



ボランティア活動

名古屋国際センター「子供日本語教室」

業知原に滞在する、外国人の子供たちに日本語を教えるボランティア活動

学んだこと:
・日本語の支援を必要とする外国人(労働者やその家族)が増加、日本語交換は簡単が増す。
・「一期一会」出会いを大切に

イングリッシュキャンプ 外国人ボランティア

日本人の小学生と共に一泊二日を過ごし、英語での会話を通じて交流するボランティア活動



資格取得

日本語、英語、インドネシア語の語学力の向上。

語学をただ単に話せるだけでなく、将来的にそれらを活用して働きたい。

これを通して学んだこと:
向上心を忘れずに持つこと。
現状で満足しないこと。



まとめ

・日本語に触れられる環境で育ったから、日本へ留学することが私の人生の一つの大きな目標だった。

・留学して、積極的に日本人や外国人、国を問わず人と関わることをして、サークルやボランティア活動から得たこと。

・これからも積極的に自分からきっかけ作りをして人と関係を築きたい。

余談

バリ日本語補習授業校の理事長はロータリークラブに在籍。

ロータリーをつなげて、ロータリー米山記念奨学会をいただいている私はなにがしらの縁があるのでは...



Terima
Kasih

ありがとう
ございました

引用

<https://jg-bali.jimskorea.com/>
イラストや
<https://resdd.com/detail/2018/09/23/post-3042/>
<http://www.gunbaro-miyagi.com/ex/volunteer/>